

## 2022年度 大学教育に関するアンケート

2023年3月で初期臨床研修を修了する本学卒業生にアンケートを実施しました。  
調査票を郵送し、webデータ集積管理システム REDCap でご回答いただきました。

実施期間	2023年2月15日～3月31日
2021年度就職者数	99名
有効回答数	36名（回答率 36.4%）

### 1 大学の教育で役立ったこと

- ・うなづき、傾聴、共感など、医師としての態度をしっかり学ばせてもらったこと(6)
- ・SSCでの実習(5)
- ・病院実習(4)
- ・OSCEや医療面接の実習(3)
- ・解剖、生理学などの実習(2)
- ・知識
- ・研究室配属
- ・尊敬でき、相談できる先生に出会えた（就業実習で）
- ・レポートの書き方
- ・科目別の授業は臨床に則していてよかった
- ・実習での発表
- ・カルテの書き方
- ・コミュニケーションの取り方
- ・実習、授業両方にとっても大事だと今になって思う
- ・患者さんとの関わり方 大学の先輩とのつながり
- ・病院実習で各診療科の先生（特に年次低め）に教わったことで将来像を身近に感じることができた
- ・様々な職種につくことでどのようなことをしているか学べた
- ・患者さんの背景を推測するために、住所をみたり、保険を確認したりするべきだという首藤 prof の授業は役立った
- ・海外実習を通して、医療英語や海外でのコミュニケーションへのハードルが低くなった
- ・希少疾患の存在

### 2 大学の教育であったほうが良いと思うこと

- ・論文の読み方 (3)
- ・レポートの書き方、症例発表などテンプレを学ぶ機会(2)
- ・医療経済
- ・医療用語を英語で学ぶ。 予備校との提携
- ・医師以外の医療従事者などについてや社会的な面を学べる機会
- ・解剖学をもう一度できる機会を欲しい
- ・CPRの対応

- ・ USMLE の勉強
- ・ 臨床推論
- ・ 鑑別疾患、症候学の授業はもう少しあってもよい
- ・ 研究室配属の期間が短かった
- ・ 抗菌薬の腎機能別の授業
- ・ 基礎の知識がどれだけ臨床に役立つかなどの具体例の授業があってもおもしろい
- ・ 基礎医学は臨床を経て役立つと思うので、臓器別から勉強するのも良い
- ・ カルテを書く機会が少ない
- ・ 全診療科の実習
- ・ 臨床実習でいろいろ回れたらよかった
- ・ ポリクリの時に好きな診療科をまわる期間も設けて欲しい
- ・ より手技の経験や医療現場の実際がわかるように教育して欲しい
- ・ エコーの練習
- ・ 輸液の勉強。栄養の勉強。
- ・ ルートの練習などもう少し機会が多くてよかった
- ・ 患者の病態についての議論会
- ・ 実験や討論などの参加型の授業がより多くあれば良い
- ・ 実習や試験を少し減らして、論文検索や抄読会の練習などがあるとよりバランスが良い
- ・ 生理学と実臨床がなかなか結びつけることができるとより病態理解につながる
- ・ 専門的すぎることを学ぶよりも、国家試験や実臨床で役立つことを学ぶ機会を増やした方が良い
- ・ 事務手続きの簡略化
- ・ 現状で良い、特になし(4)

### 3 大学生の時にしておけばよかったと思うこと

- ・ 旅行(6)
- ・ 英語の勉強(3)
- ・ エコーの練習(2)
- ・ 論文の読み方、調べ方(2)
- ・ 薬などに関する知識(2)
- ・ もっと色々な種類のバイト(2)
- ・ スライド作りやパソコンの使い方、プログラミング(2)
- ・ 自主学习
- ・ 臨床推論
- ・ USMLE の勉強
- ・ 生化学を勉強しておけばよかった
- ・ 解剖学→生理学の後に再度解剖学をしたかった
- ・ 低学年時から少しずつ問題集等に取り組むべきであった
- ・ 検査室での実習など
- ・ SSC での手技の練習
- ・ 内視鏡の模型を使った練習
- ・ 心電図の読み方、免疫学や生化学、内分泌学などの基礎（基本的なこと）の定着
- ・ コメディカルの人の仕事内容や特色などをもう少しわかってから研修医になるべきだった

- ・医学以外の金融リテラシーや統計学などに関する知識の学習
- ・病棟管理に関してより深く関わる機会があれば、医師になってから役に立つことがあると思う
- ・難しい医学書ではなく、研修医が読むような本を読んで、実際の臨床現場を少しでもイメージしておくこと
- ・もっと遊べば良かった
- ・特になし